



新しい時代の消費生活、男女共同参画を自らが考える場を意味しています

i…愛情・情報・私 ne…新しさ(=new) 次の時代(=next) s…消費 s…参画

アイネス ホツと通信

飛び出せ!! 公務員プロ ジェクト



NPO 現場体験研修 ～飛び出せ公務員プロジェクト～

県職員がNPO現場を知ることで、実際の業務の中でのNPOとの連携、協働を図り、NPOと行政との相互理解を深めることを目的として、研修を行い、14人の県職員が10のNPO活動を体験してきました。

詳しい報告内容は県庁ホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.oita.jp/site/npo/npogenbataiken.html>)



【研修を通じた職員による主な気付き】

- NPOは人を巻き込む力がある。
- NPOの魅力は、携わる人達の魅力でもある。
- 行政(公正、公平)では対応できない部分もNPOなら対応できる。(行政とNPOとの役割分担)
- 行政では出来ないきめ細やかな対応が出来る。
- NPO活動を良く知ると地域ニーズの一端が見えてくる。
- 情報発信、情報共有の重要性。
- 行政によるNPOと企業との橋渡し。



アイネス
相談ダイヤル

月～金曜日
(祝・休日を除く)

- ◆消費生活等相談 097-534-0999 (9:00～17:30)
- ◆消費生活特別相談 097-534-0999
第3日曜日(休館日)を除く日曜日 (13:00～16:00)
- ◆食品表示110番 097-536-5000 (9:00～16:30)
- ◆男女共同参画についての申出 097-534-8477 (9:00～17:00)
- ◆女性総合相談 097-534-8874 (9:00～16:30)
- ◆女性のための仕事相談 097-534-8614 (9:00～16:30)
- ◆県民相談 097-534-9291 (9:00～16:30)

業務(行政)に関する連絡先

- 消費者行政に関すること(県民生活班)
☎097-534-2038
- 男女共同参画行政に関すること(参画推進班)
☎097-534-2039
- NPO行政に関すること(県民活動支援班)
☎097-534-2052
- その他(会議室利用等)のお問い合わせ(代表電話)
☎097-534-4034

期待してます!消費者団体の今、そして、これから

大分県消費者団体連絡協議会は、昭和45年から現在にいたるまで、大分県の消費者運動を支えてきた団体です。7つの県域団体によって構成され、「消費者月間の啓発」や「地域消費者フォーラム（県委託事業）」、「消費者事業者意見交換会」などに取り組んできました。次年度からは、現在県に設置している事務局を協議会構成団体である消費者団体内に移転し、さらなる連携を深め、再スタートを切る予定です。

「消費者が主役の社会」を目指し、「地域消費者フォーラム」などで築いてきた地域の方々との手づくりのよさを大切にしたい取組をベースに、県民一人ひとりの生活の質の向上や事業者との信頼関係に基づく公正で良質な市場づくりに、行政のよりよきパートナーとして活躍されますことを心から期待します。

参加してよかった! 「地域消費者フォーラム」

1月27日(木)に、はさま未来館において、今年度2回目の地域消費者フォーラムが開催され、約170人が参加されました。

昨年11月の臼杵会場に引き続き、大分県立看護科学大学の平野互准教授が「医療・介護を利用者の立場で考える」をテーマとした講演を行い、医療関係者等とのよりよい関係づくりや「消費者の権利」を具体的に学ぶことができました。

また、由布会場では、米粉を使ったアイデア料理の展示・試食などもあり、多くの方々から、「一緒に取り組んでよかった」「参加してよかった」との声が聞かれました。



食肉に関する消費者・事業者意見交換会開催

2月2日(水)、大分県消費生活・男女共同参画プラザ《アイネス》大会議室で、大分県食肉事業協同組合連合会と消費者団体との意見交換会が開催されました。

食肉の流通や販売の現状について同連合会の清田会長から概要説明があった後、消費者側からの「地産地消運動を進める上で豊後牛の流通に関する消費者の理解は重要」「BSE検査の動向は?」「ハーブ豚、牛肉交雑種、桜王、特別栽培肉という表示の意味は?」「ミンチ肉の表示は信用できるのか」等の意見や質問が出されました。事業者側から、それぞれについて説明が行われ、「食肉の表示や品質については厳しい検査が実施されている。消費者の信頼を裏切ることがないよう事業者は真剣に取り組んでいる。安心して肉を食べていただきたい」「県産牛の消費拡大もお願いしたい」旨のコメントがありました。



平成22年度多重債務者対策会議を開催しました。(2月25日(金) 大分県消費生活・男女共同参画プラザ《アイネス》大会議室)

多重債務問題について、関係機関・団体が相互の連携を強化し、多重債務者対策の円滑かつ効果的な推進を図るため、県、教育庁、警察本部、弁護士会、司法書士会、市長会、町村会、九州財務局大分財務事務所、大分県金融広報委員会による対策会議を開催しました。

今年度は、対策会議に先だって、「相談」「セーフティネット」「教育・啓発」「取締り」の分野において、多重債務問題解決への寄与を期待される機関・団体の実務担当者による連絡会議を開催し、相談件数の動向やセーフティネットの活用状況等の情報共有を行い、その結果をふまえ、対策会議において今後の相談体制の整備や啓発・教育等について協議しました。

高齢者の消費者トラブル防止 テレビスポット放送 DVD制作のお知らせ

県では、2月23日(水)から3月8日(火)まで、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送で30秒のテレビスポットを放送しています。大分県出身の演歌歌手、松原のぶえさんが、やさしく、わかりやすく悪質商法への注意を呼びかけ相談を促すとともに、劇団員により、「訪問販売」「電話勧誘」「周囲の見守り」の3つのパターンをミニドラマで伝えます。

現在制作中のDVD(15分程度)では、特に高齢者に被害の多い「訪問販売」「点検商法」「利殖商法」と2つの「電話勧誘」の5つの事例を物語形式で伝え、各物語の最後に松原のぶえさんが被害を未然に防ぐための心構えを紹介します。

DVDは、各種研修会や集会等で活用いただけるよう貸出しを行うとともに、市町村消費生活相談窓口にも配布予定です。お楽しみに。

テレビスポットより 松原のぶえさん▶



平成22年度「アイネス合同会社説明会」を開催しました。



今年1月20日(木)、大分県消費生活・男女共同参画プラザ《アイネス》大会議室で、結婚や子育てなどでいったん仕事を辞めた女性の再就職を応援するため、女性が多く働いている事業所等にお集まりいただき、「アイネス合同会社説明会」を開催しました。

約90名の来場者は、最初に行われた、参加事業所と相談機関からの業務等の紹介に熱心に耳を傾けていました。

その後の個別説明会では、いくつものブースを精力的に回る姿があちこちで見られました。



♡♡参加者の声♡♡

「女性の再就職を進めるために、県（行政）が何をしたら有効と考えますか？」というアンケートには、「学童保育の充実（時間を長くする等）」「フレックスタイムの導入」など子育てしながら安心して働ける環境作りに関するご意見が多く寄せられました。

また、「企業を誘致してほしい」といった雇用の場の拡大を求める意見やこのような機会を増やしてほしいといった意見も複数ありました。



「大分県男女共同参画審議会」から知事へ答申を行いました。

「大分県男女共同参画審議会」では、昨年2月に「第3次おおいた男女共同参画プラン（計画期間：平成23年度～平成27年度）」の策定に当たっての基本的な考え方について、知事からの諮問を受け、熱心に審議を重ねてこられました。去る1月27日(木)には、同審議会の山崎清男会長（大分大学教育福祉科学部教授）をはじめ7名の委員で知事に答申を行いました。

知事は、「活力ある大分県の実現には、男女共同参画を進めることや、多様な価値観を認めることが必要です。答申をしっかりと受け止め、実現に向けて取り組んでいきたい。」と応えました。



NPO 訪問

第10回

tsunagu(つなぐ)

昨年3月、天ヶ瀬駅前に軽食と手づくり雑貨の店『あまがえる』をオープンした町おこしグループ『tsunagu(つなぐ)』の斉藤久美子さんと松岡瑞恵さんにお話を伺いました。斉藤さんと松岡さんはそれぞれ「あまがせ応援団」「移住アドバイザー」の活動をしている、U・Iターンで天瀬に移住された方です。お二人をはじめとする、様々な角度から天ヶ瀬に関わる活動をしている方々が出会ってできた『tsunagu(つなぐ)』と、その繋がりの中で「天瀬の商店街のシャッターを1つでも開けたい」との思いが実現した『あまがえる』を紹介します。



カエル君がお出迎え



おいしいパンから
手作り雑貨まで
いろいろ
楽しいお店です。



斉藤さん(左)と松岡さん(右)。

●いま取り組んでいること

都市と天瀬をつなぐことだけでなく、地域の地域間をつなぐこと・世代間をつなぐことを模索し、地域活性化に貢献していきたいと思っています。ボランティアで運営している『あまがえる』は、気軽な地域のマスコットになればいいなと願い、覚えやすくシンプルな名前をつけました。二人が偶然同じ名前を考えていて驚きましたが、「天瀬に帰る、とかけて」「まちづくりの先輩である河津英太郎さんが好きなカエルをキャラクターにしたい」という思いが共通していたのかもしれません。

実現の可能性があることから取り組んだ結果が『あまがえる』なのですが、拠点を持たなかったことでそれぞれの活動の窓口にもなり、更に繋がりが広がっているように感じています。一日の来店者が少ないことから、お訪れた方を大切にお話をすることをモットーとし、笑顔で楽しく活動しています。

●今後について

「一緒に喜びを味わいませんか？」ボランティアで運営しているため、協力して下さる方が必要です。空いている時間を使って、自分の生き甲斐にできることをみつけてみませんか？親しく顔の見えるお付き合いが最高の報酬です。今後「(温泉街だけでない)天瀬マップ」作成等にも関わっていく予定です。また、3月20日に開店1周年になりますので、ミニイベントを計画中です。お待ちしております！

あまがえる 0973-57-9001・<http://blogs.yahoo.co.jp/amagaseamagaeru>

開催報告 『NPOと行政の協働ワークショップ』『企業とNPO等との協働ひろば』

2月15日(火)、大分県労働福祉会館「ソレイユ」で『NPOと行政の協働ワークショップ』を開催し、47人の参加がありました。これは、NPOと行政との協働を進めることを目的として、協働のあり方や可能性、手法等をワークショップ形式で学ぶもので、今年度は『企業とNPO等との協働ひろば』との合同開催とし、「より多様な主体が参加し、より身近な課題を具体的に話し合う場」としても実施されました。

講師の特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター代表・古賀桃子氏から「協働で、地域・社会をカラフルに！」と題した話題提供があった後、「企業・NPO・行政に聞いてみたいこと」「どこにあるかな？協働のタネ」の2つのワークを行い、最後の名刺交換では予定時間を超える熱心な参加をいただきました。

参加者からは「大分県を良くしたいという目的は共通」「それぞれの情報発信が必要」「本音で話す機会は重要」「このような場は繰り返し開催すべき」といった感想が寄せられました。



参加者募集 NPO活動ステップアップ支援調査事業 最終報告会を開催します!

県内のNPOを対象に行った「自分たちの活動が見える化し、情報発信していく」ための調査事業について、IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」の川北秀人代表を招いて報告会を開催します。是非、ご参加ください! ◆平成23年3月18日(金)13:00~17:00 大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2F大会議室 ◆ 問合せ・申込み先 NPO法人ハットウ・オンパク 0977-22-0401

★1月の新規認証団体:「コミュニケーション・サポートネットワーク(大分市)」「大分の風(大分市)」

ホームページで情報発信しませんか? ◎おおいなNPO情報バンク「おんぼ」(<http://www.onpo.jp/>) ◎チャレンジ!県民運動(<http://blog.onpo.jp/challenge>)



大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」

〒870-0037大分市東春日町1-1 (NS大分ビル内)

電話097-534-4034(代表) FAX.097-534-0684

ホームページ <http://www.pref.oita.jp/soshiki/13040/>

Eメール a13040@pref.oita.lg.jp

アイネス★ホットと通信・2011年3月号(平成23年3月1日 発行)/大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)

* アイネスや「アイネス・ホットと通信」に関するご意見・ご感想をお寄せください。